

エコノメトリックスII 宿題解答例(3)

2008年11月12日

Q. 2.10

まず $P \equiv X(W'X)^{-1}W'$ がべき等行列 (idempotent matrix) であることを示す。

$$PP = X(W'X)^{-1}W'X(W'X)^{-1}W' = X(W'X)^{-1}W' = P$$

しかし、

$$P' = W(X'W)^{-1}X'$$

であるので、 $S(X) \neq S(W)$ という仮定から $X \neq W$ 。よって P は対称行列ではない。

次に P によって射影される空間を考える。いま n 次元の任意のベクトル y があるとき、 P による写像は、 $b \equiv (W'X)^{-1}W'y$ とおくと、

$$Py = X(W'X)^{-1}W'y = Xb$$

で表されるから、 $S(X)$ 上にある。加えて、もし $y \in S(X)$ であれば、 $y = X\beta$ と表すことができるから、

$$Py = X(W'X)^{-1}W'X\beta = y$$

となって P の写像はすべて $S(X)$ 上にある。

さて、 $I - P$ によって射影される空間を考えよう。 n 次元の任意のベクトル u があるとき、 $I - P$ による写像は $(I - P)u$ となるが、

$$W'(I - P)u = (W' - W'X(W'X)^{-1}W')u = (W' - W')u = 0$$

が成立するので、 $S^\perp(W)$ 上にある。また $v \in S^\perp(W)$ となる n 次元の任意のベクトル v があるとき、 $W'v = 0$ が成立するから、 $(I - P)$ による写像は

$$(I - P)v = v - X(W'X)^{-1}W'v = v - v = 0$$

となって、 $S^\perp(W)$ 上にある。題意より $S(X) \neq S(W)$ であるから、 $S(X)$ と $S^\perp(W)$ は直交しない。

Q. 2.13

関係式を行列を使って表現すると、

$$\mathbf{Z} = \begin{pmatrix} z_1 & z_2 & z_3 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} x_1 & x_2 & x_3 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} 1 & 0 & 2 \\ -2 & 1 & -3 \\ 0 & 4 & 5 \end{pmatrix} = \mathbf{X}\mathbf{A}$$

よって

$$\mathbf{A} = \begin{pmatrix} 1 & 0 & 2 \\ -2 & 1 & -3 \\ 0 & 4 & 5 \end{pmatrix}$$

次に、上の関係式を x_i ($i = 1, 2, 3$) について解くと

$$\mathbf{X} = \begin{pmatrix} x_1 & x_2 & x_3 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} z_1 & z_2 & z_3 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} 17 & 8 & -2 \\ 10 & 5 & -1 \\ -8 & -4 & 1 \end{pmatrix} = \mathbf{Z}\mathbf{A}^{-1}$$

となり、 \mathbf{A} は逆行列をもつことが示される。

次に 2 つの回帰式が同じ予測値と残差をもたらすことを示すために、 P_Z と P_X について考える。正方行列の積の逆行列に関し、

$$(\mathbf{ABC})^{-1} = \mathbf{C}^{-1}\mathbf{B}^{-1}\mathbf{A}^{-1}$$

が成立することを用いると、

$$\begin{aligned} P_Z &= \mathbf{Z}(\mathbf{Z}'\mathbf{Z})^{-1}\mathbf{Z}' \\ &= \mathbf{X}\mathbf{A}(\mathbf{A}'\mathbf{X}'\mathbf{X}\mathbf{A})^{-1}\mathbf{A}'\mathbf{X}' \\ &= \mathbf{X}\mathbf{A}\mathbf{A}^{-1}(\mathbf{X}'\mathbf{X})^{-1}\mathbf{A}'^{-1}\mathbf{A}'\mathbf{X}' \\ &= \mathbf{X}(\mathbf{X}'\mathbf{X})^{-1}\mathbf{X}' = P_X \end{aligned}$$

となり、 $P_Z = P_X$ 、 $M_Z = M_X$ が成立するので 2 つの回帰式は同じ予測値と残差をもたらす。
上記のことより

$$\hat{\mathbf{y}} = \mathbf{X}\hat{\boldsymbol{\beta}} = \mathbf{Z}\mathbf{A}^{-1}\hat{\boldsymbol{\beta}} = \mathbf{Z}\hat{\boldsymbol{\alpha}}$$

が成立するので、

$$\hat{\boldsymbol{\alpha}} = \begin{pmatrix} \hat{\alpha}_1 \\ \hat{\alpha}_2 \\ \hat{\alpha}_3 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 17 & 8 & -2 \\ 10 & 5 & -1 \\ -8 & -4 & 1 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} \hat{\beta}_1 \\ \hat{\beta}_2 \\ \hat{\beta}_3 \end{pmatrix} = \mathbf{A}^{-1}\hat{\boldsymbol{\beta}}$$

ゆえに $\hat{\beta}_1 = \hat{\alpha}_1 + 2\hat{\alpha}_3$ 、 $\hat{\alpha}_1 = 17\hat{\beta}_1 + 8\hat{\beta}_2 - 2\hat{\beta}_3$ 。